

(授業の終わった教室で○○が帰りの準備をしていると、侑奈が声をかけてきて)

「あのさ、今日の放課後、時間ある?」

「そっか、よかつた。じゃあちょっと教室残って。で、広報委員の資料作成手伝って」

(○○がなんで?と聞くと、淡々と侑奈は話す)

「なんで、って。暇なんでしょ?」

(○○が暇だと分かると、責め立てるように)

「ほら、やっぱり暇じやん。なら手伝って」

(なんで俺なんだ、と言わると少し目を逸らしながら侑奈は話す)

「なんで俺なんだ、って…別にいいじやん。理由なんかないわよ。強いて言うなら…席

無題のテキスト

が近かつたから。それだけ」「広報委員、クラスで私だけなんだし、一人でやるには大変なんだよね。そういうこと。じゃ、よろしくね」